



おたよりコーナー

広報紙に対するご感想や日ごろ感じていることなど、お便りをお寄せください。

お便りをいくつかご紹介します。

毎月、広報させぼと一緒に、県政だよりなどの配布物が配られますが、関係があるところだけを読むのに半日以上もかかります。記事は、なるべく簡潔にまとめてください。

広報係から

広報させぼと一緒に配布されるものは、市の関係部署が詳しく広報するために発行するものや、市とは別の機関が発行する「県政だより」などです。

市役所内部の情報は、できるだけ広報させぼにまとめるようにしていますが、すべての情報を広報させぼ1冊にまとめるのは困難な状況です。

広報させぼは、今後とも簡潔で読みやすい記事の作成を目指したいと思います。

1月号の特集では、シーユーなど以前にお世話になったところが載っていて、身近に感じました。佐世保の子育て支援は、なかなか充実していると思います。

出産したての新米ママです。子育ての記事をもっと載せてください。2人目も産みたいと思える佐世保市であってほしいですね。

広報係から

子育てに関する記事は、今後も特集などで取り上げていきたいと思っています。ご期待ください。

広報クイズ

はがきまたはEメールに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、3月23日までにお送りください。

問題の 中に文字を入れてください。答えのヒントは、紙面の中にあります。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書カードをプレゼントします。紙面の都合上、発表は発送をもって代えさせていただきます。

問題 市では、市民の体力向上などを旨とする「総合型 スポーツクラブ」の活動を支援しています。

問題 4月1日、宇久町・小佐々町との合併を記念して合併記念 が開催されます。

問題 「サイエンス広場で遊ぼう！」の ガスを吸い込む実験では、吸った後の声は実際の声よりも高くなりました。

前回の答えは、体験 玉緑 マンモでした。たくさんのご応募ありがとうございました。

ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面でお寄せください。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。採用分には図書カードを差し上げます。



Q.レジ袋をごみ袋に利用できるようにしてはいかがでしょうか。

矢岳町 斉藤 常子さん(79歳)

指定ごみ袋は、透明でごみがむき出しになり、強度も弱く破れやすいので、ごみを一度スーパーのレジ袋に入れてから指定ごみ袋に入れ、ごみ処理券を張っています。

そこで、レジ袋をごみ袋に利用して、直接ごみ処理券を張って出すことができるようにしたらいかがでしょうか。

思い出の一枚

完成時(昭和30年)の西海橋

写真 は、昭和30年10月18日に完成した西海橋で、当時市港湾管理事務所に勤務していた片岡広幸さんが撮影しました。

この橋は6年の歳月と約5億5千万円の工費を投じて建設されました。長さ約316m、海面からの高さ約43mのアーチ型の鉄橋で、固定式のアーチ橋としては、当時世界第3位といわれました。難工事の末に完成した橋は、本市と西彼杵半島をつなぐ夢の架け橋となりました。

完成の日の渡り初めには数万人が訪れ、橋が揺れるほどのにぎわいだったそうです。

西海橋下の瀬戸は、伊ノ浦瀬戸または針尾瀬戸と呼ばれており、潮の干満の差が大きい春の大潮の時期には、潮の流れは時速9ノット(時速約17km)を超えるといわれています。毎年この時期には、1年間で最も大きな渦潮が見られるため、「観潮会」が開かれ、多くの観光客が訪れています。

また、今月5日には、西海橋の横に「新西海橋」

A.廃棄物・リサイクル対策課からお答えします

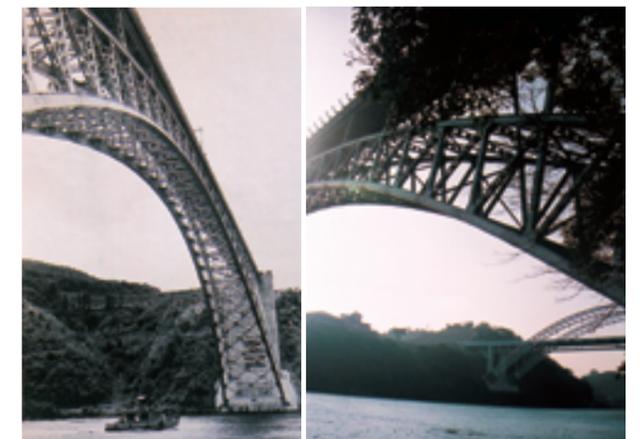
レジ袋は、そのほとんどが1回しか使われずにごみになってしまうことから、スーパーなどには買い物かごなどを持参して、レジ袋をもらわないようにする「マイバッグ運動」が各地で取り組まれています。

近年では、レジ袋の有料化についても検討されており、国が行った世論調査では、有料化賛成が反対を上回る結果も出ています。

このような中、「レジ袋にごみ処理券を張って出す」という方法は、これからの環境行政を考えると採用は難しいといえます。市では、広報紙や講習会などで「買い物に行くときの買い物袋持参」を呼び掛けてきました。今後とも、レジ袋の使用を抑制していく方向で取り組みたいと思います。

指定ごみ袋は、ごみを収集する作業員のけがや事故を防ぐため、あえて透明な袋を採用しています。ごみ袋の厚さについては、業者に依頼して従来のものより厚いもの(0.03mm)も販売するようにしていますので、購入する際にご確認ください。

今後とも、ごみ減量化・リサイクルの推進にご協力をお願いします。



完成時の西海橋

現在(背後の橋は新西海橋)

が開通します。新西海橋は、長崎市と佐世保市を1時間内で結ぶことを目標にして建設が進められている自動車専用道路「西彼杵道路」の一部となります。この橋には車道の下につり下げの形で歩道も付いており、車を気にせず渦潮を眺めることができます。

【懐かしい佐世保の写真をお寄せください】

写真にまつわるお話と住所、氏名、電話番号を書き、「思い出の一枚」担当あてと明記してください。